

2009年8月期第1四半期 決算補足資料

2009年1月9日

目次

第1章：2009年8月期第1四半期経営成績

第2章：2009年8月期中間期進捗の状況

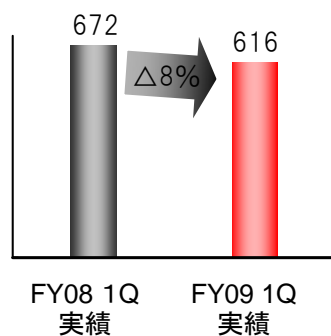
1

第1章：2009年8月期第1四半期業績

■ FY08 1Q実績
■ FY09 1Q実績

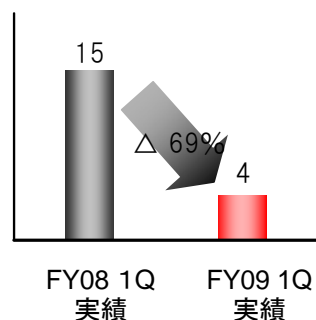
売上高

【億円】



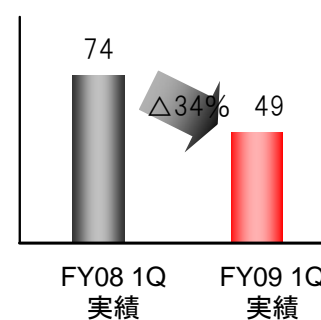
営業利益

【億円】



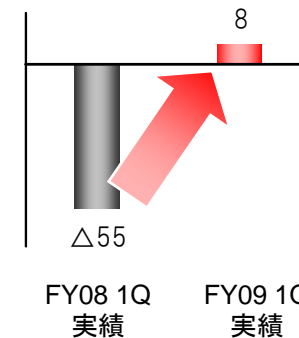
EBITDA

【億円】



純利益

【億円】



景気後退に伴う人材関連事業における売上・営業利益の減少
その他各事業はほぼ前年と同水準で推移

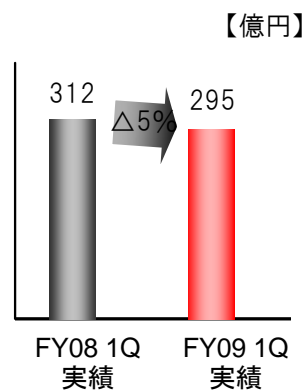
営業利益減ならびに減価償却費減により、前期比で減少

ISP事業売却による特別利益の計上

第1章：セグメント別業績(売上高)

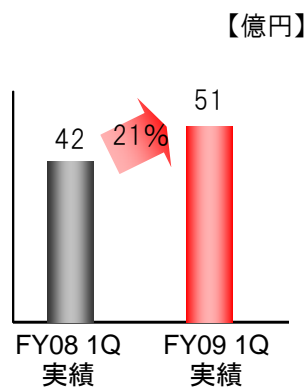
■ FY08 1Q実績
■ FY09 1Q実績

放送・業務店事業



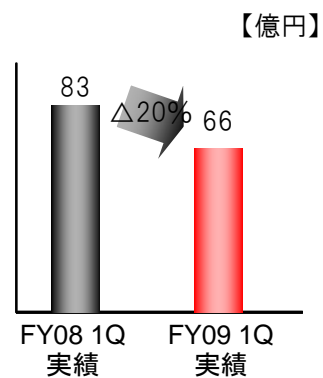
カラオケ新商材の製造遅延等による売上高減

映像・コンテンツ事業



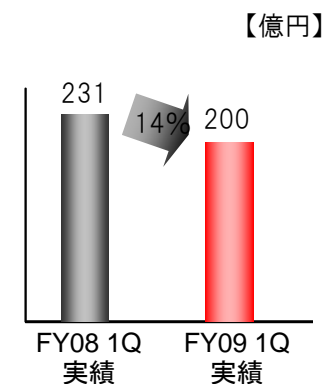
GyaO NEXT加入者増加による売上貢献

ISP事業



子会社の持分法移行に伴う売上高減

人材関連事業



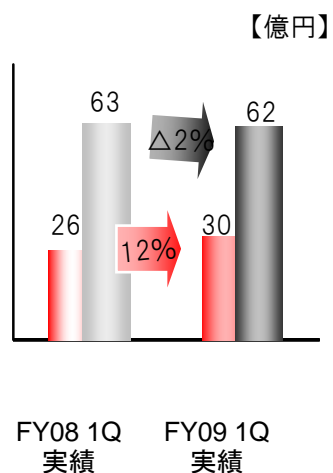
景気後退に伴う採用抑制による売上高減

第1章：セグメント別業績（営業利益・EBITDA）

■ FY08 1Q実績（営業利益）
■ FY09 1Q実績（営業利益）

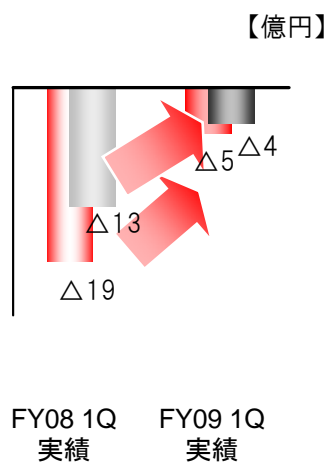
■ FY08 1Q実績（EBITDA）
■ FY09 1Q実績（EBITDA）

放送・業務店事業



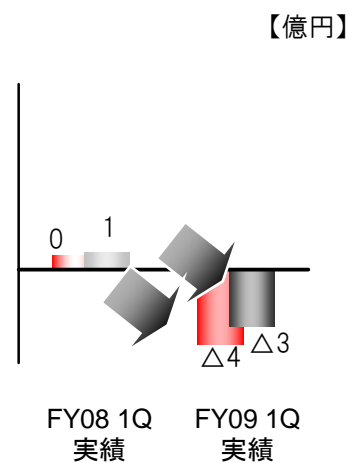
既存ランニング事業による
安定的な収益確保

映像・コンテンツ事業



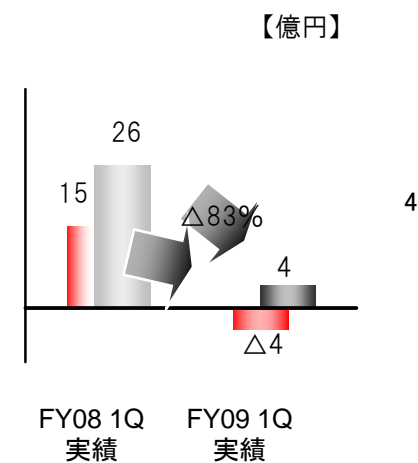
順調なコスト削減による
赤字幅の減少

ISP事業



年度初めへの販促キャンペーン集中によるコスト増

人材関連事業



利益率の高い人材紹介事業
の不振による収益低下

※決算短信上のコンテンツ配信事業セグメントを放送・業務店事業、映像・コンテンツ事業、ISP事業として表記しております。但し、監査法人の監査は受けておりません。

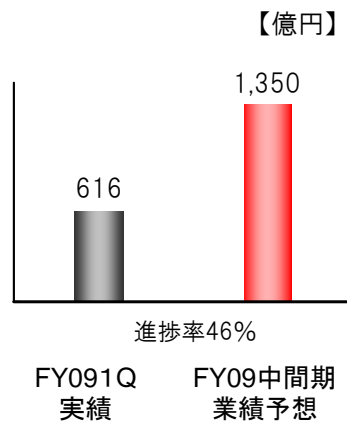
目次

第1章：2009年8月期第1四半期経営成績

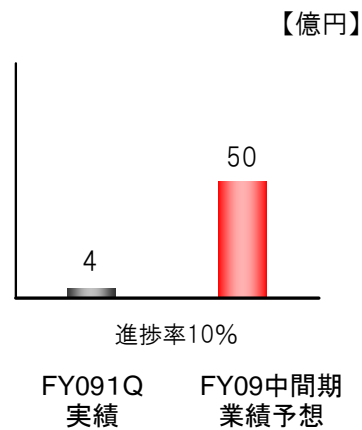
第2章：2009年8月期中間期進捗の状況

第2章：2009年8月期中間期 進捗の状況

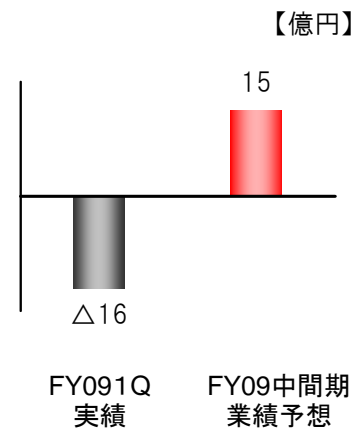
売上高



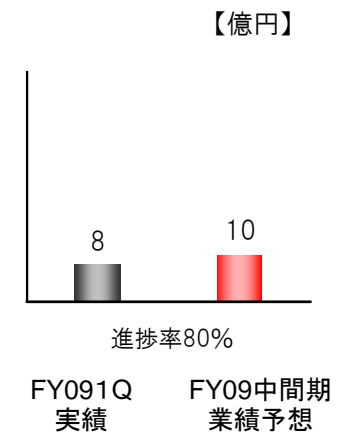
営業利益



経常利益



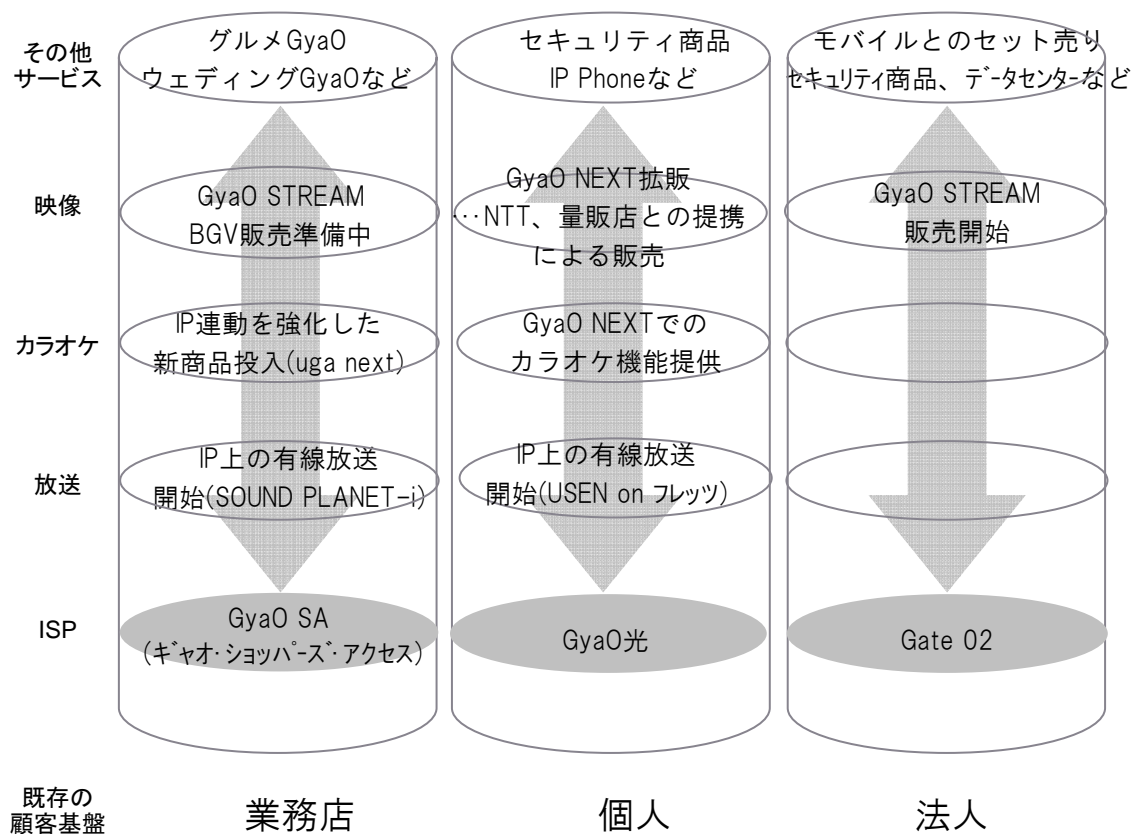
純利益



第2章：今後の事業方針

光ブロードバンド・サービスのNo.1カンパニーとなる

既存の顧客基盤に向け、ISPをベースとした有線放送やカラオケ、映像など
様々なコンテンツのクロスセルをおこない、ARPU向上による収益拡大を図る



第2章：放送事業の取り組み

個人宅向けの光回線を利用した有線放送サービス「USEN on フレッツ」の開始により、個人宅市場のさらなる拡大を図る（2008年12月より開始）

個人宅向け「USEN on フレッツ」

USEN  **on** **フレッツ**



- ・ NTT東日本、NTT西日本が提供する光回線（フレッツ）を利用した個人宅向け有線放送
- ・ 従来の同軸ケーブル、衛星受信用アンテナで利用ができなかった層に対するサービス提供が可能
- ・ NTT東日本、NTT西日本における販売取次ぎ

第2章：カラオケ事業の取り組み

1Qに製造遅れが生じた新商材「uga next」の出荷本格化により
売上の拡大を図る（2008年11月より出荷開始）

新商材「uga next」



「uga next」

- ・ 業界最多となる総楽曲数13万曲以上を搭載
- ・ 人気アーティストの最新シングルから話題の新曲まで、毎月最大1000曲配信
- ・ アーティスト本人と歌う感覚を楽しめるアーティスト映像コンテンツ搭載
- ・ 特撮、アニメ、インディーズ楽曲など、根強いファンの多い楽曲を豊富にラインアップ

第2章：GyaO NEXTの取り組み

GyaO NEXTサービスにおける人気コンテンツ拡充により加入者の拡大を図る（2008年10月末よりサービス開始）

人気TVシリーズ「FOXオンデマンド」

海外ドラマブームの火付け役となった「BONES」
「ボストンリーガル」「アリー-myLove」等、20世紀
フォックス製作の人気テレビシリーズを配信

人気邦画サービス「シネマプラス」

シネマプラスとの提携により、過去の名作から
新作まで、GyaO NEXTでしか視聴できない作品
を含む、年間約120タイトルの人気邦画を配信

10

<GyaO NEXT>



©2005 - 2006 Twentieth Century Fox Film Corporation.

<配信予定作品>



「明日の記憶」
(C) 2006「明日の記憶」製作委員会



「北の零年」
(C) 2005「北の零年」製作委員会

第2章：グループコスト圧縮施策

■人件費の削減

①役員報酬返上

- ・ 代表取締役社長 2008年12月～2009年5月 全額返上
- ・ その他取締役・執行役員 2008年12月～2009年5月 30%～10%返上

②役員数削減

- ・ 取締役数 14名→6名
- ・ 監査役数 4名→3名

③管理職月額報酬減額

11

■コスト圧縮施策

①人員数の最適化

- ・ グループ全体での人材の最適化・再配置
- ・ 管理部門内勤社員の営業部門への異動
- ・ 早期退職制度の実施

②販管費の管理強化（交際費・広告費等）

③UBA(USEN・BMB・ALMEX)購買統合による削減

④拠点統廃合による諸経費の削減

USEN 2009年8月期 経営方針

原点回帰

放送・業務店を中心としたランニング事業により安定的な収益を確保する

守りの経営

当面、新規投資は抑制。これまでの投資の収益化、コスト削減等、堅実経営に徹する

絶対黒字

フリーキャッシュフローの安定的確保を最重要課題とし、計画数値を必達する

企業価値向上

USEN
USEN GROUP

USEN
USEN GROUP

添付資料

13

添付資料 KPI

		FY08 (44期)				FY09 (45期)
		1Q (9月~11月)	2Q (12月~2月)	3Q (3月~5月)	4Q (6月~8月)	1Q (9月~11月)
■各種指標						
放送・業務店事業*1						
売上高	(M)	31,208	33,110	30,424	36,247	29,500
営業利益	(M)	2,687	6,432	4,011	6,494	3,021
有線放送売上高	(M)	16,164	14,690	14,891	15,705	15,292
総加入者数	(千人)	1,133	1,110	1,080	1,069	1,062
カラオケ売上高	(M)	11,315	13,679	11,299	14,595	10,663
開局累計台数	(千台)	116	111	112	111	109
映像コンテンツ事業						
売上高	(M)	4,296	5,761	7,238	7,071	5,190
営業利益	(M)	△1,965	△4,725	△2,302	△251	△582
GyaO売上高	(M)	1,462	1,166	1,238	1,530	1,100
総加入者数	(千人)	16,956	18,300	19,538	20,491	21,431
GyaO NEXT売上高	(M)	449	659	1,009	1,705	1,075
総加入者数	(人)	66,781	69,820	71,760	73,159	85,225
I S P 事業						
売上高	(M)	8,352	9,237	10,259	9,483	6,696
営業利益	(M)	74	683	793	818	△439
総取付数	(千件)	639	666	697	742	760
個人取付数	(千件)	609	635	659	689	702
法人取付数	(千件)	30	31	38	53	58
人材関連事業*2、3						
売上高	(M)	23,200	21,961	22,946	20,934	20,061
営業利益	(M)	1,533	664	381	265	△477
キャリア事業売上高	(M)	5,991	5,844	5,904	5,024	4,430
サポート人数	(人)	3,296	3,336	3,479	2,721	2,497
平均CO数	(人)	301	300	293	320	383
平均手数料	(千円)	1,347	1,331	1,316	1,309	1,281
生産性	(人)	11.0	11.1	11.9	8.5	6.5
派遣・OS事業売上高	(M)	11,474	11,232	11,507	11,529	11,154
平均稼働者数	(人)	8,758	8,962	8,938	8,663	8,133
メディア事業売上高	(M)	5,937	5,321	5,405	4,553	4,866
平均営業人数	(人)	779	765	733	748	755
平均出稿社数	(千社)	15.2	13.4	14.1	12.6	13.1

*1 放送・業務店事業の売上高、営業利益はUSENグループ会社アルメックス（業務用システム導入）の業績が含まれております。

*2 キャリア事業、派遣・OS事業、メディア事業の売上高は月次決算の合計となっております。

免責事項

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。